



病に挑み、不安と向き合う

低侵襲治療！腹腔鏡下手術

当院では豊富な専門的知識と経験に基づいた、安全で確実な腹腔鏡下手術を行っています。腹腔鏡下手術とは、お腹に小さな穴を作り、そこからカメラと細長い器具を用いた低侵襲な手術方法です。
※必要に応じて開腹手術へ移行することもあります。

【腹腔鏡下手術の特徴】

- ・手術の傷が小さい
- ・術後の癒着が少ない
- ・術後の痛みが軽度
- ・早期退院、早期社会復帰

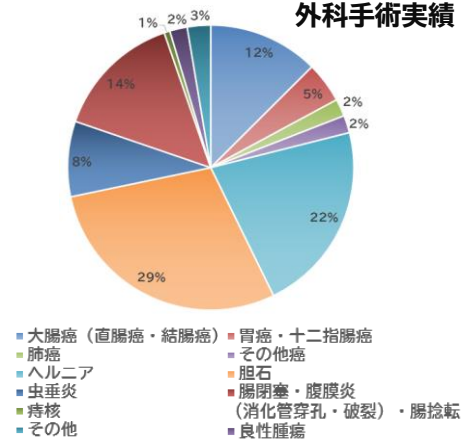
集学的治療

内科・外科の垣根を越えた消化器専門医が連携して診療を行っており、様々な治療手段を駆使し、消化器疾患の集学的治療に積極的に取り組んでいます。内視鏡治療、手術、化学療法、緩和治療などの多種多様な治療が可能であり、それらを組み合わせて行う事により高い治療効果や満足度を得ていただけるよう努めています。疾患への直接的な治療が困難となった場合など、状態によっては同時並行で緩和治療も提供しており、患者さんがその人らしく過ごすことができるよう、両立支援なども含め、細やかにサポートいたします。

下肢静脈瘤専門外来

下肢静脈瘤専門外来では、保存的治療と、日帰り手術での手術療法を行っています。2016年6月より下肢静脈瘤の血管内治療を開始し、約600肢を治療しています。手術療法では、高周波による血管内焼灼術やストリッピング手術だけでなく、2021年に最新治療である血管内塞栓術も開始しました。この施術の特徴として、下肢静脈専用の接着材（シアノアクリレート）を使用して血管を閉塞させるため、皮膚や神経に対してより低侵襲な治療が可能です。更に手術適応でない患者さんには、弾性ストッキングなどによる保存的治療を行っています。また、下肢静脈瘤による難治性潰瘍などがある場合は当院の形成外科と連携して治療を行います。症状として下肢の浮腫、怠さ、重さなどがあり、悪化すると皮膚炎、湿疹、色素沈着、潰瘍などが現れます。深部静脈血栓症は、下肢静脈にできた血栓が肺動脈を詰まらせてしまう「肺血栓塞栓症」「エコノミークラス症候群」の原因になります。上記症状のある方は、お気軽にご相談・ご紹介ください。

外科手術実績



内視鏡治療

手術

緩和治療

化学療法

リハビリ

在宅支援

各専門のプロと連携して
継続的なサポートを提供

外来診療担当表

	午前	午後
月	-	-
火	未廣	外科 医師
水	-	-
木	阿部	-
金	未廣	-
土	-	-

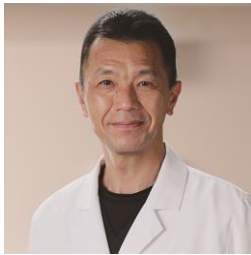
救急対応

腹部救急疾患や外傷に対して救急診療を行っています。外科医を中心に救急科医や各診療科医との連携の下、緊急手術等にも対応しています。

【対象疾患例】

- ・虫垂炎
- ・汎発性腹膜炎(胃・十二指腸穿孔、大腸憩室炎穿孔 等)
- ・ヘルニア嵌頓
- ・腸閉塞、急性胆嚢炎
- ・血胸、気胸
- ・動物咬傷 など

医師紹介



副院長/消化器外科部長
外科・肛門外科部長

園田 幸生 そのだ ゆきお

2022年4月に赴任しました。外科系疾患への治療はもとより、患者さんの「いきるを支える」ために、生活に関わる様々なケアに関しても、外科総合医として積極的に取り組んでいきます。どんなことでもお気軽にご相談ください。



消化器外科医長
外科・肛門外科医長

阿部 陽介 あべ ようすけ

HITO病院へ4年半ぶりに戻って参りました。この4年半で学んできた知識やスキルを用いて悪性疾患だけではなく良性疾患の治療や、手術加療に加えて抗がん剤の治療や緩和ケアの面でも皆様の生活に貢献できるよう日々精進して参ります。



総合健診センター長
外科医

末廣 和長 すえひろ かずなが

下肢静脈瘤の治療を専門に行なっています。血管内塞栓術(グルー治療)は愛媛県で最初に行いました。ほか、血管内焼灼術も試行しており低侵襲な外科治療を行っています。また、健診センター長として、市民の皆様の健康増進にも努めてまいります。



外科医

市川 奈々子 いちかわ ななこ

今年度から赴任してまいりました。前年度までは県立新居浜病院で勤務しておりました。以前HITO病院に勤務していた時よりも手術件数が増えており、研鑽に励む日々です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

予 約

月～金 8:30～17:00

第1・3土曜日 8:30～12:00

HMSC (サポートセンター)
お問い合わせ電話番号

0896-58-2226